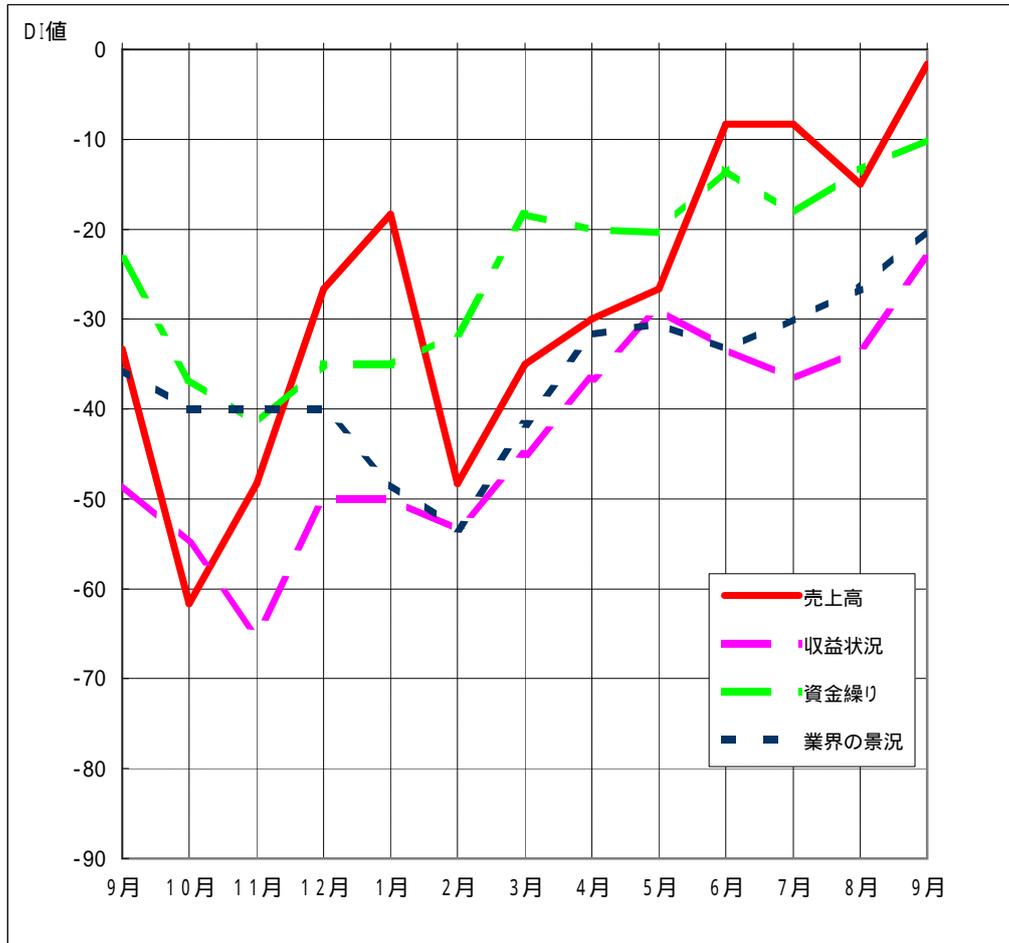


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成16年9月～平成17年9月

単位:ポイント



	h16				h17								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	-33	-61.7	-48.3	-26.7	-18.3	-48.3	-35.0	-30.0	-26.7	-8.3	-8.3	-15.0	-1.7
収益状況	-48	-55.0	-65.0	-50.0	-50.0	-53.3	-45.0	-36.7	-28.8	-33.3	-36.7	-33.3	-23.3
資金繰り	-23	-36.7	-41.7	-35.0	-35.0	-31.7	-18.3	-20.0	-20.3	-13.3	-18.3	-13.3	-10.0
業界の景況	-36	-40.0	-40.0	-40.0	-48.3	-53.3	-41.7	-31.7	-30.5	-33.3	-30.0	-26.7	-20.0

9月のDI値をみると、前年同月より全項目で好転した。「売上高」DIは前年同月より31.6ポイント改善し、マイナス1桁台に推移した。「収益状況」DIにおいては、25.0ポイント改善し、マイナス20%台に推移した。「資金繰り」DIは、13.3ポイント改善し、マイナス10%に推移。「景況」DIは前年同月より15.6ポイント改善し、マイナス20%に推移した。ここ3ヶ月の傾向値をみると、マイナス幅を縮小させて、堅調に推移している。

組合の特記事項からは、製造業では、「木材・木製品」、「鉄鋼・金属」、「一般機器」の一部で景気回復の実感有りとする報告があるが、それ以外の製造業の多くでは売上低迷、原材料高騰等、景気回復の実感はないとしている。また、石油価格高騰の影響を危惧する報告も多い。非製造業では、「卸売業」、「鉱業」の一部で昨年の災害復旧により、需要増とするがそれ以外の非製造業の多くでは、売上減、原材料高騰、石油価格高騰等、製造業と同様に景気回復は実感できないとする報告が多い。構造的な不況からの脱却対策の要望もあるほどである。

新潟県内の中小企業は、一部で持ち直しに向けた動きがみられるものの、楽観視できず総体的にほとんどが景気回復を実感できない状況にある。